

ピラミッド/Book

今月のテーマ:交通



バスに乗って
遠足に行きました♪



園庭で電車やバスごっこ
を楽しみました!

園の周りにたくさん
お散歩に行き、横断
歩道を渡ったり、電
車を見に行ったり、
楽しく交通について
知ったね!

今月のテーマ:交通

ぞう組:歩道と車道を知ろう

きりん組:近所の道

らいおん組:モノや人を運ぶ事

年間テーマ活動

	テーマ	発達領域
4月	受け入れ	個人の発達
5月	からだ	空間の理解
6月	大きさ	考える事の発達
7, 8月	水	知覚の発達
9月	色と形	考える事の発達
10月	秋	言葉の発達
11月	交通	言葉の発達
12, 1月	数える	考える事の発達
2月	衣服	考える事の発達
3月	春	時間の理解

日常何気なく利用している車、自転車、バス、そして町中にたくさんある交通標識、信号などにあらためて気づきます。そして、自分たちの生活の回りには沢山の決まりやそれを表している標識があり、それを守る事の必要性を知ります。約束を知ることは、友だちとのかかわりの中で、友だちに繋がっていくと考えます。

ぞう組

テーマ：交通

1. なんだろう？ (方向づけ)



あかいろはとまる！



11月のテーマは「交通」です。
サークルタイムで登園時や散歩でいつも通る道や、保育園の周りに何があるか聞いてみると、「どうろがある」「しんごうがある」と知っていることをたくさん話してくれました。絵本「しんごうきピコリ」を見ると、信号機の色の意味を話していました。
園の周りの歩道橋や公園などへ散歩に出掛けたり、乗り物ごっこを通して、楽しみながら交通のルールを知ったり、「車道・歩道」の違いを知っていききたいと思います。



2. みてみよう (見本を見せる)



部屋に横断歩道を作り、みんなで渡ってみました。
「どうやって渡るのかな？」と聞いてみると、「てをあげてわたる」「あおになったらわたるんやで」と声がたくさん上がっていました。自分たちで信号機の色を変えて「あおになりました」「わたってくださいーい」など会話をしながら楽しんでいました。

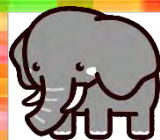


あおになった

てをあげて～



あかはとまるんやで



3. どうしてそうなの？ (理解を広げる)



バスに乗り、神戸須磨シーワールドへ初めての遠足に行きました。バスに乗ると、窓から見える乗り物や、変わりゆく景色を見てとても楽しんでいました。園に帰ってから、「えんそくたのしかった」「またばすのりたいたい」と話す子どもたち。園でも楽しめるように段ボールでバスを作り、バスごっこをしました。自由にクレパスでお絵描きをし、素敵なバスが完成しました。園庭に出ると「しゅっしゅー」「ばすがとおります」など話しながら楽しんでいました。



あかしんごうや！



しゅっぱつしまーす



おいしそう！



4. もっとしりたい (理解を深める)



かっこいい〜！

歩道橋や公園などお散歩にたくさん行きました。横断歩道は、しっかりと手を挙げて渡ることができていました。歩道橋に着くと、「おおきいとらっくみえた！」「くるまいっぱいや」と乗り物に興味津々に嬉しそうに見ていました。往復の道のりでは、白い線の内側を歩くことを伝えると「しろいせんのかなあるくんやんな」と友だちと話しをしていました。きりんぐみさんとは、淀川消防署まで行き消防車を近くで見たり、木川公園で遊んだりしました。これからも散歩にたくさん出掛け、交通ルールを守りながら楽しみたいと思います！



せんろや！



おーい！



きりん組

テーマ：交通



なんだろう？ (方向づけ)



サークルタイムで「どんなのりもの知ってる？」と尋ねると…「車・救急車・パトカー・飛行機！」とたくさん知っていたきりん組さん。そこで、「保育園に来る時は、どうやって来てるの？」と聞いてみました。「ママと自転車できた！」「今日はパパやったから歩きやった」など、みんなで出し合ってみると、自転車で来ている友達が多いことにビックリ！「飛行機や電車とかは誰もいなかたね」「じゃあ先生たちにも聞いてみよう！」とグループごとに聞いてまわりました！



みてみよう (見本を見せる)



「バスで須磨シーワールド向かう時、バスがなかなか動かなかったよね」と話すと、「消防車が通っていった」「事故が起こったで」と子ども達が思い出して話をしてくれました。車がいっぱいでなかなか動けない時の事を『渋滞』っていうんだよというのを話すと、「お出かけの時、渋滞なったことある」と言う声もあがってきました。

そこで、街の写真を使いながら『渋滞』を再現し、人形が横断歩道で動けなくなってる時はどうしたらいいかな？と聞いてみると「車の前は通ったら動き出すかもしれんし通られへん」別の子は「こっちの道は通れるから、違う道を探したら通れるで」と方法を探す姿が見られました。

「バスに乗ってる〇〇ちゃんも描いて、シャチも描こう」



「バスが出発しまーす」
「席に座ってください」



どうしてそうなるの？
(理解を広げる)



実際に園外に出て、どんな乗り物が通っているか、どこの道は混んでいるか等、話ながら散歩に行きました。歩きながら道路を見て「あ、ゴミ収集車きたで」「黄色のタクシー通った」「白やからパトカーやと思ったけど、普通の車やったわ」「信号まだ赤やから止まれやで」とたくさんの会話が出てきました。



「横断歩道渡る時は右と左みないとアカン」「車来てない！」



間近な距離で電車が見れ大興奮のきりん組。大きな声で「ばいばーい」と叫びながら手を振ったり、「トムとジェリーの電車やった」「プレミアム2回も通ったで」と話していました。また、手を振っていると運転手さんが汽笛を鳴らしてくれたので更に嬉しさが倍増！

帰り道では、工事現場の横を通ることができ、ショベルカーが動いているのを見れ「かっこいいー」と大喜びでした。

「ショベルカーが動いてる」「かっこいいなあ〜！」



もっと知りたい
(理解を深める)



最終週は、いろんな警備のお仕事の話をしました。「警察官はどんなことしてるの?」「泥棒を捕まえたり、町のみんなを守るお仕事」「工事の警備さんは?」「事故がないように車にこっちはよーって言ったりする」「ホテルやビルの警備の人は?」「中に変な人が入ったりしないように見てる」とそれぞれの仕事を教えてくれました。保育園にも警備の人がいるよね、という話をすると...

「いつもタッチしてくれる」「保育園のみんなが車にひかれたりしないように守ってくれている」「おはようって言ってるで」と保育園の警備さんがいてくれて安全に過ごしているということが分かっているようでした。

身の周りで身近な交通。乗り物があるから移動ができる。でも、楽しいことだけではなく危険なこと、決まりがあること等も引き続き話していきたいと思います。

「信号赤です。車は止まってください」



なんだろう？
(方向づけ)



今月のテーマは交通、きりん組の時に、横断歩道の渡り方などの交通のルールなどは、しっかりと知っている子どもたちです。らいおん組では、もっと知っている事を増やそうという事になり、野中南公園の先の交差点や園の周りに散歩に行きました。歩道橋の上から、標識を見てみると、とても大きいことが分かりました。また、車、トラックと自転車、歩いている人のスピードの違いを感じているお友だちもいました！

また、小学校の近くには子どもが描かれている標識が多くあることも見つけた子ども達。サークルタイムの中で「標識ってなんだろう？」と子ども達に聞くと、「みんなが、安全に歩けるように多くしていると思う！」という気付きもありました！



あんな所に
標識発見！



みてみよう
(見本を見せる)



11月には、バス遠足もありました。大型バスに乗り、須磨シーワールドまで、高速道路に乗って向かいました。高速道路には、トラックが多く走っており、「何を運んでるんだろう？」という話題で子ども達は盛り上がっていました。



保育園に戻ってからも、「モノを運ぶ」という話が子ども達の中で膨らんでいきました。「トラックの他にモノを運んだりするものって何かあるかな？」という保育者からの問いに

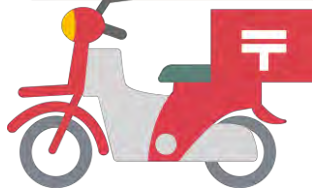
「船も人を運ぶよ！」「バスとか？」「電車、新幹線！」「飛行機もだね！」「あと…バイク？郵便屋さんとかも？」

物や人を運んでくれる、乗り物は生活の中にたくさんある事に共に気づく事が出来ました。

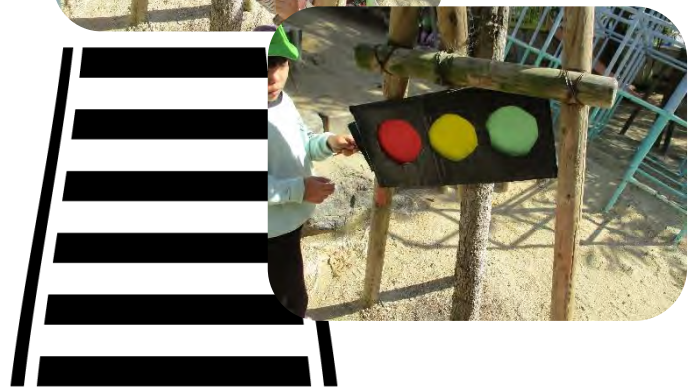


どうしてそうなるの？
(理解を広げる)

子ども達の気づきを遊びにつなげたいと思い、発見コーナーには、「郵便屋さんあそび」を作りました。コーナーの中に、手紙と、ポストを置きました、すると、手紙にあて名を書き、メッセージも添えてポストに投函して楽しみました。「早く、お手紙届けて欲しいなー！」と楽しみにする子ども達です



園庭には、様々な乗り物に乗って楽しむことが出来るように遊びを展開しました。信号が変わると「赤です！止まって下さいー！」「信号が変わりましたよ、進んで下さい！」と友だちと一緒に楽しむ姿が多く見られました。



もっとしたい
(理解を深める)

ポストには、沢山の手紙が投函されました。子どもたちは、交代で、それぞれのクラスに「郵便ですー！手紙を届けにきましたー！」と配達に行きました。その中で「ご苦労様です。ありがとう！」という言葉で沢山貰いました。「運ぶ・送る」というところに焦点を当てて沢山遊びました。また、運ぶことの大変さや、楽しさも見えてきたようでした。「交通」というテーマで、1か月過ごしました。これからの子ども達の生活の中で、より身近なものになってくると思います。気付いた事、楽しかった事、驚いた事などを、また次の遊びの中に活かしていきたいと思っています。



